

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
麻生美容専門学校	平成14年3月29日	林 宏治	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-13-16 (電話) 092-415-2373																				
	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
衛生	衛生専門課程	美容科	平成16年文部科学省 告示第30号	—																			
学科の目的	本学科は、美容師に必要な知識技能を修得せしめ、社会に有為有能なる実践の人材を養成することを目的とする。																						
認定年月日	平成26年3月31日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	73	17	6	62																		
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
228人		182人	0人	14人	16人	30人																	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各期毎5段階にて評価 担当教員が定期試験、出席等の状況をもとに評価																		
長期休み	■夏季:8月7日～9月1日 ■冬季:12月18日～1月5日 ■春季:2月29日～4月2日			卒業・進級 条件	学則で定める当該年度における必要な時間数を履修していること。各学期試験の通年評価がC評価(60点)以上であること。教科の区分ごとにその教科科目の3分の2以上(実習を伴う教科科目は5分の4以上)出席していること。																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任および学科教員との個別ガイダンスの実施。 学科責任者との面談、三者面談の実施。			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有																		
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) 美容サロン・美容業界(TONI & GUY/PEEK-A-BOOなど) ■就職指導内容 求職票面接、個別指導等 ■卒業生数 47 人 ■就職希望者数 45 人 ■就職者数 45 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 95.7 % ■その他 ・その他斡旋希望しない学生が2名 (令和元年度卒業生に関する 令和2年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師国家試験</td> <td>②</td> <td>47人</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 アリミノ フォトプレゼンテーション2019 最終ノミネート			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	美容師国家試験	②	47人	41人								
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																				
美容師国家試験	②	47人	41人																				
中途退学の 現状	■中途退学者 5名 ■中退率 4.1% 令和元年5月1日時点において、在学者123名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者116名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路の変更、健康問題、経済的問題など ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による要因を抱えた学生に対する個別面談。ガイダンス記録による情報共有。臨床心理士によるカウンセリング。保護者との面談の実施。																						
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 東日本大震災により被災した進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 前年度の給付実績者数: 0人																						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																						
当該学科の ホームページ URL	URL: https://asojuku.ac.jp/abc/beauty/																						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

厚生労働省の指針に合わせ、美容業界で即戦力として活躍できる美容師としての基礎をしっかりと学び、二年間で美容師国家資格取得を目指していく。また、世界基準の世界的サロン『TONY&GUY』のTONY&GUY国際基準資格(カット)の取得をはじめ、最先端の技術と人間性・創造性を併せ持つ世界基準の美容師を目指している。また、適宜編成委員会を開催し授業内容等について確認を行うとともに、企業等より実習の授業及び教員に対し専攻分野における実務に関する研修を組織的に行う。また、実務(サロン)実習を行い、企業からの要望を伺い教育に活かしていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。委員会は、次の事項を審議し、会議の結果を学科内でのカリキュラム会議に報告する。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

また、カリキュラム会議においては、教育課程委員会からの意見を参考に、学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し、策定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
永倉 瑞恵	一般社団法人JMA 理事	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	①
鮎川 忠明	株式会社フレア 取締役	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	③
林 宏治	麻生美容専門学校 校長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
三並 恒功	麻生美容専門学校 校長代行	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
佐伯 京子	麻生美容専門学校 シニアマネージャー	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
渡邊 正明	麻生美容専門学校 主任	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
西依 優	麻生美容専門学校 副主任	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
山口 薫	麻生美容専門学校 副主任	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)年2回 9月・2月

(開催日時(実績))

第1回 令和元年7月3日(水) 14:00～16:00

第2回 令和元年12月4日(水) 14:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

実務実習に関しては60時間という設定時間が長期であり、繁忙期などを避けてほしいとの意見があった。理由として、受け入れ企業側には、余剰人員もないために細かい対応が難しい場合がある。今後、本校でも実施時期を含めて実務実習の実施期間の方法を教職員会議等でも検討をおこなった。結果的には、本年度は新型コロナウイルスの影響から夏季の実務実習の実施を中止。また、実務実習の代わりとして学内での実習にて30時間を実施を行う。新型コロナウイルスの感染拡大の収束状況によるが、残り30時間を春季休暇を利用してサロン実習を行う予定である。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学校では体験できない接客業やサロンワークを実体験させることにより学生の社会性と共同性を涵養し、又、就職活動を控えた学生に職業意識を意識させることを目的とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

・美容実習

実習の受け入れ先の美容室の実習担当者と本校美容科教員が実務実習の実施前に、打ち合わせを行い、実習内容の詳細を決定するとともに、学生の学修成果の方法についても打ち合わせを行い決定する。実習期間中は、美容科教員が各サロンに実習期間中(8日間)に1回訪問し、学生の実習状況について直接確認するとともに、実習担当者と情報交換を行う。実習終了時には、美容室の実習担当者による学生の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が単位認定を行う。

・ヘアテクニック

ヘアテクニックに関する授業課目の担当教員は、学校とTONI&GUYが締結している契約書に基づいてTONI&GUYが主催する講習を受講。認定講師終了試験をしたうえで、同社より美容実習(TONI&GUY)における教育内容に関する指導方法、評価方法、教材作成に対する助言、資料等の提供を受け、実践的な授業であるベーシックカット(ワンレングス・グラデーション・レイヤー)を60時間の指導を行う。また、実習終了後にはTONI&GUY本部講師が最終チェックを行い、学生の学修成果の評価を踏まえ、TONI&GUYと本校教員が協議したうえでの評価を行う。その結果として、TONI&GUYの合格基準を修得した証として同社より認定書が授与される。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
美容実習 (総合実習)	総合実習として、1年次に60時間(8日間程度)美容室にて現場実習を行う。	(株)田谷、TONI&GUY JAPAN、 (株)SARA、(株)ネオ・アーデント
ヘアテクニック	1年次に60時間、教育提携しているTONI&GUYのカットプログラムを導入し、検定試験を受験する。	TONI&GUY JAPAN

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員に対して、現在就いている職務又は将来就くことが予想される、職務の遂行に必要な知識・技能を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が、計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

・研修名「TONI&GUY教育提携校認定講師資格取得研修」(連携企業等:TONI&GUY JAPAN)

期間:令和元年8月19日～21日 対象(参加者):3名

内容:認定講師としての技術力を維持するために、連携先であるTONI&GUYの規定に基づき3年に1回受講。

・研修名「教科課目『運営』担当教員資格認定に係る研修会」(連携企業等:公益社団法人 日本理容美容教育センター)

期間:令和元年9月2日～13日 対象(参加者):1名

内容:美容師養成施設指定規則に規定する厚生労働大臣の認定を受けて実施し、美容師養成施設において教科課目を担当するに足る知識及び技能を習得させ、その資格を付与する。

②指導力の修得・向上のための研修等

・研修名「低学力層への指導方法の理解」(連携企業等:ベネッセグループ(株))

期間:令和元年5月17日 対象(参加者):7名

内容:リメディアル教育を中心とした低学力層への指導方法の理解を深める。

・研修名:「初年次教育セミナー」(企業連携等:ベネッセグループ(株))

期間:令和元年7月9日 対象:教員2名

内容:初年度教育とはどのようなものなのかを中心に、近年の新入生の基礎学力不足、学習意欲の低さを原因とした退学者の増加や国家試験合格の低迷など様々な課題について情報交換を行う。

・研修名:「インストラクショナルデザインⅡ」(企業連携等:一般社団法人全国専門学校教育研究会)

期間:令和元年7月9日 対象:教員2名

内容:育成人材像に基づいた体系的カリキュラムの構築を取得する。3ポリシーについて、学科目標・教育目標の整理、学科カリキュラムの見直し・改善を目的とする。

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

・研修名「TONI&GUY教育提携校認定講師資格取得研修」(連携企業等:TONI&GUY JAPAN)

期間:令和2年8月3日～7日(新規取得) 令和2年8月25日～27日(資格更新) 対象(参加者):1名(新規)2名(更新)

内容:認定講師としての技術力を維持するために、連携先であるTONI&GUYの規定に基づき3年に1回受講。
今回は内1名が、新規にて受講を行う。

・研修名「教科課目『美容実習』『美容理論』担当教員資格認定に係る研修会」

(連携企業等:公益社団法人 日本理容美容教育センター)

期間:令和2年9月24日～10月9日 対象(参加者):1名

内容:美容師養成施設指定規則に規定する厚生労働大臣の認定を受けて実施し、美容師養成施設において教科課目を

担当するに足る知識及び技能を習得させ、その資格を付与する。

・研修名「JMA講師会」(連携企業等:一般社団法人JMA)

期間:令和3年3月20日 対象(参加者):1名

内容:JMA認定講師のためのメイクに関する手技に関する講習と講師会。

②指導力の修得・向上のための研修等

・研修名「～Withコロナ時代に求められる教育・指導体制とは～」(連携企業等:ベネッセグループ(株))

期間:令和2年7月30日(木) 対象(参加者):1名

内容:第1部:データから見る専門学校生

第2部:専門学校先進事例紹介 ～成功事例からヒントを学ぶ～

第3部:コロナに負けない指導体制構築のためにお手伝いさせて頂けること

・研修名「コーチング実践～言動改善対応編～」(連携企業等:組織デザインラボ)

期間:令和2年9月2日(水) 対象(参加者):1名

内容:クラスを乱す言動をする学生の事例を使って効果的な質問を作り、実践する。

・研修名「コーチング実践」～多欠学生対応編～(連携企業等:組織デザインラボ)

期間:令和3年2月3日(水) 対象(参加者):1名

内容:欠席しがちで、やる気が落ちている学生の対応事例を使って効果的な質問を作り、実践する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりをおこなう。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、人事・給与規程、業務効率化、他
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5) 学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11) 国際交流	留学生の受入れ、支援体制

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

今回の学校関係者評価委員会にて保護者代表から国家資格を取得率についての意見として、学費を支払って資格が取得できないという状況は納得がしがたいとの意見を頂戴した。100%は無理でも100%に近づけていく事が理想として、本校も最善を尽くし100%を目指して教育活動を行っていくと回答をした。2019年度の国家試験についても、合格率87パーセント(全国平均85.1パーセント)と、全国平均よりは高い数値であったが、受験生全員の合格を目指して教職員全員での振り返りのミーティングを実施。PDCAサイクルを組織的にやり、教育活動を行っている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
林 圭一	株式会社 ダリア 福岡営業所 課長	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	企業等委員
永末 里志	博多女子高等学校 理事長・学校長	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	高校関係者
亀岡 正成	舞鶴校区 町内会 連合会 副会長	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	地域住民
田中 章恵	美容科2年生 保護者	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	保護者
奥野 祐希	プランツヘアー博多 代表取締役	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/abc/2019/hvoka.pdf>

公表時期: 令和元年7月22日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、ASOの考え方、5つの特徴
(2) 各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、国家資格・検定、就職情報
(3) 教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6) 学生の生活支援	生活環境サポート、留学生学習・生活サポート、留学生就職サポート
(7) 学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援(各種支援制度)
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9) 学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	留学生入学案内、留学生募集分野、グローバル教育、海外での大学教育
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://asojuku.ac.jp/abc/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科) 令和2年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 数	授 業 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	1 衛生行政 (1) 衛生行政の意義 2 美容師法 (1) 法の目的 (2) 美容師に対する法的規制 (3) 美容所に対する法的規制	21年・通前	30	1	○			○			○	
○			衛生管理	1 公衆衛生概説 (1) 公衆衛生の意義 (2) 公衆衛生と美容業 (3) 保健所の業務 2 感染症 (1) 美容所における感染症対策 3 環境衛生 (1) 環境衛生の意義と目的 (2) 美容所における環境衛生 4 衛生管理技術 (1) 美容所における衛生管理の意義と目的 (2) 消毒法の選択と実施方法 (3) 消毒法の実習	21年・通後	90	3	○			○			○	
○			保健	1 人体の構造及び機能 (1) 人体の構造及び機能と疾病との関連 2 皮膚科学 (1) 皮膚の構造 (2) 皮膚付属機関の構造 (3) 皮膚の循環器系と神経系 (4) 皮膚と皮膚付属機関の生理機能 (5) 皮膚と皮膚付属機関の保健 (6) 皮膚と付属器官の疾患	21年・通後	90	3	○			○			○	
○			香粧品化学	1 香粧品概論 (1) 香粧品の社会的意義と品質特性 2 香粧品用原料 (1) 香粧品の対象となる人体各部の性状 3 基礎化粧品 (1) 皮膚清浄用香粧品 4 メイクアップ用香粧品 (1) メイクアップ用香粧品の種類と錠形 5 頭皮・毛髪用香粧品 (1) シャンプー剤、スタイリング剤 6 芳香製品と特殊香粧品 (1) 芳香製品	21年・通後	60	2	○			○			○	
○			文化論	1 美容文化史 (1) 美容ファッションの変遷 (2) 美容業における流行の意義と役割 2 服飾 (1) 美容における服飾の意義 (2) 衣服に関するエチケット	21年・通前	60	2	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 数	授 業 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			美容技術理論	1 器具の取扱い (1) 美容器具の種類、各部の名称及び使用目的 (2) 美容器具の選定法、研磨法、基本的操作法及び手入れ法 (3) ヘアドライヤー、ヘアスチーマー及びブラシの使用目的と手入れ法 (4) 被布及び布片類の使用目的 (5) 美容器具の消毒法 2 基礎技術 (1) 美容技術の意義と基礎知識及びデザイン 3 頭部技術 (1) 頭部技術の基礎知識 4 特殊技術 (1) 特殊技術の基礎知識 5 和装技術 (1) 和装技術の基礎知識	1年2年・通	150	5	○			○		○		
○			運営管理	1 経営管理 (1) 美容業における経理事務 2 労務管理 (1) 美容業における労務管理 3 接客法 (1) サービス・デザイン (2) マーケティング (3) サービスにおける人の役割	2年・後	30	1	○			○			○	
○			美容実習	1 器具の取扱実習 2 基礎技術実習 3 頭部技術実習 4 特殊技術実習 5 和装技術実習 6 総合実習	1年2年・通	900	30			○	○	○	○	○	○
○			ヘアテクニック	1 ヘアカット 2 シャンプー&ブロー 3 ヘアカラー 4 ヘアセット&着付け 5 企業実務	1年2年・通	210	7			○	○		○	○	○
○			ビューティースキル	1 メイクアップ 2 ネイル 3 接遇	21年・前通	180	6			○	○		○	○	
○			デザイン	1 ファッション 2 デッサン 3 カラーコーディネート	21年・後通	90	3			○	○		○	○	
	○		専門選択 (ヘアデザイナーコース)	1 カットイング 2 ブロードライング 3 ヘアスタイリング	2年・通	120	4			○	○		○	○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		専門選択 (ヘアメイクアップアーティストコース)	1 メイクアップ 2 ヘアアレンジ 3 ヘアカラー 4 フォトシューティング	2年・通	120	4			○	○		○	○	
	○		専門選択 (ブライダルスタイリストコース)	1 ブライダルヘアアレンジ 2 ブライダルメイクアップ 3 和装・洋装着付け 4 フラワーアレンジメント	2年・通	120	4			○	○		○	○	
	○		専門選択 (メイク・ネイル・アイコース)	1 スキンケア～フルメイク 2 アイラッシュ 3 ネイルケア	2年・通	120	4			○	○		○	○	
○			社会教養	1 就職実務 2 総合学習	21年・通	60	4		○		○		○		
○			GCB	1 感謝心と思いやり 2 志を立てる	21年・前	30	2		○		○		○		
合計					17科目	2460単位時間			(85単位)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>厚生労働大臣の指定した美容師養成施設において定められた法定時間（履修時間）を履修していること。（学則で定める当該年度における必要な時間数を履修していること。）各学期、教科課目の区分ごとに、その教科課目の3分の2以上（実習を伴う教科課目は5分の4）以上出席を満たしていること。</p> <p>当該学年において履修すべき課目の各学期ごと試験の通年評価が必修課目60点（C評価）以上、選択必修課目60点（C評価）以上であること。</p>	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週